

会報

TUWV

OB会

 OB会費 (ネーブル銀川崎支店
 東北大学フンダーズ・フォー・TUWV OB会
 振込先 普通口座「1881604」

＝OB山行報告＝

水上 俊彦 (8期)

はや5回目を迎えた今回のOB山行は素晴らしい天候にも恵まれ、10月の連休後の静かな南アルプスを満喫することができました。10月15日(土)広河原に予定通り集中したのですが、参加したメンバーと集中形式は以下の通りです。

- 1) 佐藤拓哉一家(4人8期)13日より南アルプスに入り北沢峠より甲斐駒ヶ岳を往復した後、スーパ林道を通して集中
- 2) 小原(4期)横浜を夕方出発し、夜の山岳ドライブにて広河原到着。みんなとの合流は翌朝になる。
- 3) 藤森(7期)朝、諏訪を夕方出発し、やはり車にて広河原集中、到着後白鳳峠方面へ散策。
- 4) 水上、中里(8期)菅原(10期)やはり車にて集中。たゞし途中夜叉神峠を往復し白峰三山の展望を楽しむ。

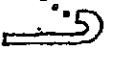
以上、参加者は9人でしたが、結局歩いて集中したのは拓哉一家だけでした。偉大なる南アルプスを歩いて集中するのは、OBにとっては、時直のなさ、それ以上に休力のなさから大分無理があったようです。

広河原集中後は、我々パーティー以外は誰もいないひっそりとしたテントサイトでさっそく酒盛りがおこなわれ、雑談に花を咲かせました。いい気持になったところで、みんなの持ってきたエッセンをかき集めて夕飯の仕度をするが、結局何を食ったか思い出せません。夕飯後は何となく足が河原に向き、そこでさよやかなキャンプファイヤー……昔の歌が自然に出てくるのでした。夜も遅くなったところで、「明日は早く起きて北岳に登ろう」となどという冗談も出たりしたのでテントサイトにもどり、思い思いにシュラフにもぐりました。目をあけると満天の星空でした。

翌朝は前日と同じく素晴らしい秋晴でした。小原氏が例の元気な姿を見せて、みんなを驚かせたり、喜ばせたり……。全員で大樺沢の散策にでかけ(北岳登山を北岳方面で妥協)、バットレスが丁度望まれるところで二本目の休みをとりました。10年前に大樺沢からみた北岳は簡単に登れそうな気がしたのに、今日ここから見る北岳の頂ははるかかなたにある感じで、登るには一大決心がいるようです。ここが

ホクの南アルプス

佐藤 良子 (8期)

ホクの登山史上これ程晴天に恵まれた山行はこの先ないかもしれないと思われる程、3泊4日の南アルプスは晴天続き。幼稚園の子どNo.3のこの体で2700mの高峰を制覇したことは、大きな自信となって、「ホクは2700mまで登ったんだぜ」と胸を張ることしばしばである。それにしても、昼の天にも昇る嬉悦とは裏腹に夜のなんと重々しい闇であることよ。ギラギラまばゆく無数の星達と、その地上の漠とした静と闇。宇宙の重みがひしひしとかんじられた。雪子は夜の重圧感に耐え切れず毎晩テントの中で、南アのしじまをつんざくような叫び声で母をふるえあがらせた。南アに棲息する鳥獣達も夜の安息をかき乱されてさぞかし身を縮めたことだろう。おまけにテントときたら2人用のカマボコで、フレームがたわまんばかりに一家4人がひしめいているのだからたまらない。合シユラフの運命にある母娘は1つのシユラフに、雪子は顔を出して、母は雪子の足もとあたりから下にもぐり込んで寝るといふ有様。必然的に母は定期的に新鮮な酸素を求めてシユラフの奥底から這い上ってきてはまた底にもぐって行く。次からは海にもぐるときのあの  を1つ装備に加えた方がいいかもしれない。ホクは広河原に着いた時からあの広い川に足を入れて戯れたい衝動にかられ、北沢峠に着いても、その思いは募るばかりだったが、転んで濡れたら困るという理由で、清らかな流れを目の前にしながら我慢をせねばならなかったが、2日目の2700mを征服した夕刻やっと解禁になって憧れの北沢に入った。はじめ、沢に架かっている細い丸木をカニさんカニさんで向岸に渡り、その帰り沢を飛び石で渡ってきたら、ツルン、ジャポンと身ぐるみ入水式！これでホクは満足さ。翌日、父のテックイザックに、濡れた服をかけて広河原まで歩いて行くうちにはすっかり乾いちゃったのだから、山の生活って合理的だなァ、な——んちゃって。

初夏のピクニックのお知らせ!!

毎年秋に行なっておりました〇日山行に加えて、今年は家族連れ
のパーティーを企画してみました。ぜひ、お子様連れ、恋人同伴で参加
して下さい。場所は西州沢の静かな河原、たき火を囲んでバーベ
キューを。大滝沢のバス停のすぐ近くの河原なので、お子様連れ
でも心配は無用です。

準備の都合上前も、座終っただけでは幸いです。オニギリと
飲み物持参の飛び入りも大歓迎です。

日時： 5月28日(日) 雨天中止

場所： 西州沢大滝沢の河原
(中川温泉より40分上流)

交通： 小田急線新松田駅より富士急バス
「箒沢」行き大滝沢下車
又は
「中川温泉」行き終点より歩いて40分
(中川迄までは車で迎えに出る可)

連絡先： 小原 佑二 自宅 045-363-8735
会社 045-822-5381
(味の素中央研究所 LL2)

佐藤 拓哉 自宅 0468-41-8622
会社 045-712-1111 内4769
(日揮 EN技術開発部)

バス時刻表(新松田発)

6:05 箒沢行
7:10 中川温泉止り
8:10 箒沢行
9:10 中川温泉止り
10:45 →
11:55 箒沢行

